

## まちの話題

町的话题を紹介しています。  
皆さんの身近な情報をご連絡  
ください。

連絡先  
企画財政課広報広聴係  
電話 25 - 2136

### 納税貯蓄組合連合会が46年の活動に幕を下ろしました

町内で納税の普及・啓発に取り組んできた清里町納税貯蓄組合連合会（会長 家村克己さん）が、2月22日に臨時総会を開催し、平成18年度をもって46年の活動に幕を下ろすことを決定しました。

同連合会は、納税貯蓄組合法により納期内納付や納税成績の向上を目的に、昭和35年7月に町内64組合で設立されています。



戦後の復興期における納税啓発や納税貯蓄、納付活動に大きな役割を果たし、今日の清里町の高い税収納率を誇る納税意識の基盤を築いてきました。しかし最近では、口座振替納付の普及や個人情報保護など、時代の推移とともに活動が停滞していることもあり、その役割を終えての解散となりました。

### 中学生と老人クラブで食を通じた世代間交流

2月27日、清里中学校2年生と老人クラブ連合会の皆さんの世代間交流会が行われました。

これは、中学校の総合的な学習の時間の取り組みの一環で、「地域の人々と交流する」をテーマに行われたものです。

老人クラブの方から昔懐かしい蒸しパンの調理を学び、その場で一緒に味わいましたが、砂糖などの甘味料が貴重な時代の味を体験するため砂糖は使わず、味付けは自家製のビートから作った蜂蜜をかけての試食となりました。

また老人クラブの皆さんは、新しい中学校の校舎を見学し、給食を試食するなど、今と昔の食を通じた交流が深まりました。



### 松木憲昭さんが表彰を受けました

清里町監査委員の松木憲昭さん（向陽東）が、2月21日に札幌市で行われた北海道町村等監査委員協議会の総会において表彰を受けました。

今回の表彰は、平成8年4月から10年以上にわたって町の監査委員として監査業務に携わり、地方自治の振興発展に貢献された功績によるものです。



### 新たな特産品が開発されています

清里町商工会（会長 大西紀章さん）を中心とした、新たな特産品の開発に取り組む「むらおこし特産品開発事業」で、清里メロンの果汁とじゃがいも焼酎で作った「メロンビネガー」と清里産玉ねぎと大豆で作った「オニオン味噌ペースト」の試作品が完成しました。

「北海道オホーツク」と秀峰斜里岳のまちをイメージに、「清里田園工房」をブランド名とし、新たな魅力の創造を目的に進められており、試作品の追加と改良、販売、PR方法を検討し、平成20年の商品化をめざしています。



新たな特産品が清里の味として定着し、そして、新たな活力創造の起爆剤となることを期待します。

## NPOきよさと観光協会が斜里岳山小屋「清岳荘」の指定管理者になりました

清里町では、平成17年度から「介護老人保健施設」「穀類乾燥調製施設」、平成18年度からは「緑清荘」「パパスランド」「清里町管理の道路橋梁及び河川の維持管理」に指定管理者制度を導入して管理運営を行っています。



町では引き続き、平成19年度から「清里町農山村景観・環境保全施設（斜里岳山小屋）」に指定管理者制度を導入するための準備を進め、特定非営利活動法人となった「NPOきよさと観光協会（会長 川筋 守さん）」が選定され、3月定例町議会の議決を経て正式決定しました。

3月15日には、川筋会長に「公の施設に係る指定管理者の指定書」が交付され、平成19年4月から3年間、町が行ってきた斜里岳山小屋の管理業務を「きよさと観光協会」が行うことになりましたが、今後は、観光協会としての独自の特色や利点を活かした施設の管理運営など新たな活動が期待されます

## 町民スキー大会が行われました



2月25日、緑スキー場で、各小学校の児童や中学生、一般の45人が出場して第42回清里町民スキー大会が行われました。

大回転、回転、制限滑降に出場した各選手は、日頃の練習の成果を出そうと、ゲレンデに設置された旗門を積極的に攻めています。

また、駆けつけた父母からは、わが子の懸命な滑りを応援しようと、スキー場の頂上まで届く大きな声援が途切れませんでした。

## 清里高校への入学希望者が増えています

3月16日、清里高校の平成19年度合格者が発表されました。正面玄関前に合格者の番号が張り出されると、確認にきていた生徒や父母たちは、受験番号と見比べながら笑顔を見せ、安堵の表情を浮かべていました。



一次志望による合格者は50人と、例年に比べると二割以上も多く、今後、二次募集の結果を含め3月末で最終人数が確定しますが、大幅な増員が見込めそうです。

入学希望者の増加理由には、生徒や教員、地域が一体となったきめ細やかで充実した教育活動への評価が考えられますが、生徒が増えることにより生徒の活動や行事が充実したり、生徒同士の競争力が養われるなど、より充実した教育活動が期待されます。

## 香りの力を実感したアロマテラピー教室



2月28日、プラネット97で講師にアロマテラピーインストラクターの和田 薫さん（網走市）を招いて、香りがもたらす効果や具体的な活用方法などを学ぶアロマテラピー講座が行われました。

町内の女性18人が参加し、アロマテラピーの基本的な内容を学んだあと、参加者同士でのハンドマッサージの実技やオリジナルのマッサージオイル作成を体験しました。

良い香りが漂う会場のなか、参加者からは「もともと興味があり参考になった」「ぜひ講座を続けてほしい」との声が聞かれるなど大好評の講座となりました。